

利用案内（補則）

<服装>

- ・動きやすく温かい服装で、とがった物や携帯電話などは身に着けないで下さい。
- ・滑走の際は必ず指先がすべて隠れる手袋を着用して下さい。
- ・靴ずれ防止のため、靴下はくるぶし丈ではなく長めのものをご用意下さい。
- ・ヘルメットやプロテクターは無料でご利用頂けますが、数量とサイズに限りがあります。
※ヘルメットを着用されない場合は、ニット帽の着用をお勧めします。

<貸し靴の履き方>

- ・ベンチやイスに座って、スケート靴を履いて下さい。
- ・締まっているヒモを一番前まで緩め、スケート靴を横に押し広げ、真ん中のペロを前に出します。
- ・足首周辺の肌が露出しないように靴下は伸ばして足を入れて下さい（ズボンの裾は靴の外に）
- ・かかとをトントンと床につけ、つま先を上に向けながら、前から順番に一本ずつ靴ヒモを締めます。
（足首までは、足と靴に隙間ができないようにしっかりと靴ヒモを締める）
- ・左右のフックに靴ヒモでバツ印を作りながら一番上のフックまで掛けてから結んで下さい。
- ・靴が履けたら、一度立ち上がって軽く膝や足首などを曲げて靴の中で足がズレないか、つま先に隙間があり過ぎないか、靴ヒモが緩くないかを確認して下さい。（指で靴ヒモが引っ張れたら緩い）
- ・サイズが合っていない場合は交換して下さい。 ※基本的に足の横幅ではなく縦幅で判断します。
- ・靴の交換や返却は何度でも可能ですが、左右の靴ヒモを必ずひとつにまとめてから返却して下さい。

※海外製品の為、サイズ表記はインチ (inch) となっております。

詳しくは「貸靴サイズ変換表」をご確認いただき、お取り間違いのないようお願い致します。

<氷上での注意事項>

- ・リンク内は左回りで、逆走や縦断、横断はしないで下さい。
- ・手を繋いで3人以上並んでの滑走、縦に連なっての滑走もお止め下さい。
- ・氷をむやみに削ったり、スケート靴で氷に穴をあけたりしないで下さい。
- ・スライディング、人を押す・引っ張る、ワザとぶつかる・倒れる、雪玉やモノ等を投げる、追いかっこや競争、スピードの出しすぎも危険なのでお止め下さい。
- ・初心者講習を受講する際は、インストラクターの指示にお守り下さい。
その他、係員や指導員から注意、指導を受けた場合も必ずお守り下さい。
お客様の過失により、危険と判断した場合は滑走を中止する場合があります。
体調や気分が優れない時や怪我をした際はお近くの係員までお申し出下さい。
（救護・応急手当は致しますが、責任は負いかねます）

<館内説明>

- ・お荷物は観覧席利用時であれば座席に置いていただけます。
リンクサイド利用時はベンチに放置せず、リターン式のコインロッカーにて各自でお願い致します。
（※盗難・紛失・破損などにおいて、一切の責任は負いません）
（※貴重品類については身に付けていただくか、座席に荷物番を設ける等をお勧め致します）
- ・トイレや更衣室は貸靴コーナー横の通路にあります。（トイレはスケート靴のまま利用可能）
- ・採暖室はございません、観覧される方は暖かい服装をご用意ください。
- ・入退場は全員で一斉入場を行って下さい。一時退場をご希望の場合はスタッフにご相談下さい。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策の一環として、館内は食事禁止となっております。